

事業所名

児童デイサービス ぽっぽぽ

支援プログラム

作成日

2025年

1月

25日

法人（事業所）理念		生活と遊びを通して日常生活の向上、生活習慣を身に着けるための支援を行う。 集団生活を通じて人との関わり方を学び、一人ひとりに応じた支援を行い、情緒の発達を図る。										
支援方針		ADL向上：身の回りのケアを行い自立性を高める。 健康維持：食べる・遊ぶ・休息する										
営業時間		平日 土・祝	10 12	時 0	0 0	分から 18 18	時 0	0 0	分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容												
本人支援	健康・生活	声掛けをし、食事・排出・着脱その他の身のまわりのサポートを行い、基本的な生活習慣を発達段階に寄り添いながら身につけられるように支援する。 遊びの途中で水分補給と休憩を行う。										
	運動・感覚	夏休みはプール、冬休みは毎日公園に行く等の運動を通じ、体の動かし方運動の楽しさを学び、バランス感覚、感触の成長支援を行う。 運動を通じて脳の活動促進を促しストレス・不安の軽減につながるよう支援する。										
	認知・行動	集団生活と通じて「相手の話を聞く」「基本的な身支度をする」「自分の順番を待つ」等を学べるよう支援する。 数字・文字・パズル・時間等を使用しスケジュール管理、認知や行動に活用できるよう支援する。										
	言語 コミュニケーション	子供たち同士の関わりやヘルパーとの交流を行いコミュニケーション能力の向上、言語の形成・受容・表出、状況に応じたコミュニケーションの支援を行う。 言葉だけでなく指差しやジェスチャー、身振り、絵カード等のコミュニケーション手段を選択・活用し一人ひとりに応じた関わり・支援を行う。										
	人間関係 社会性	アタッチメントの形成と安定、環境に対する安心感、「待つ」「譲る」等の気持ちのコントロール等や協調性学ぶ。 共同遊び（ルール）を通して社会性の発達・自己表現を支援する。 思い通りにならない等で気持ちが落ち付かない時は自身のペースに合わせて関わり共感性を支援する。										
家族支援		子供の成長の共感・確認。 個人面談・ノートや電話でのやり取り				移行支援		進学先や移行先の選択の相談援助 や支援援助				
地域支援・地域連携		相談支援事務所との生活支援や発達支援における連携 市が主催するイベントに参加する。				職員の質の向上		ヘルパー会議（毎月） 外部講演会・研修会参加				
主な行事等		プール遊び・クッキング会（毎月）・クリスマス会・公園（土曜日）・遠足（年1回）・レクリエーション（第3日曜日）・お菓子作り（2か月に1度） ・その他市・地域のイベントがあれば参加（毎回ではない）										